

例会日 4月2日

『イニシエーションスピーチ』石川 彰信 会員

【クラブ会長挨拶 今川 隆 会長】



皆さんこんにちは。春の陽気から一転して寒いですね。先週の木曜日は卓話をして頂いた加藤さんと水戸の宮下銀座で飲んで午前様になってしまいました。宮下銀座は東照宮(権現さんのおひざもと)からの商店街で、シャッター街になってしまったところを再開発して、平日ですが賑わいをみせておりました。かつて昭和 30 年代は黒山の人だかりで埋め尽くされていたそうで、ノストラジックな雰囲気です。40 店舗ぐらい軒を連ねています。水戸市からの空き店舗開発の補助金もあり、若い人達がそういうものを利用して飲食店などをスタートアップし、風情がある町並みにしました。

また、先週 3/29(土)に加藤さんの会社、明利酒類で蔵開きが開催されました。今年は、60 年ぶりにウイスキー蒸留所が復活して、初の蔵開きでしたが、歴史上最も寒く、雨にも見舞われた蔵開きとなりましたが、県内外 1300 人以上のお客さんが集まってくれたそうです。

加藤さんと飲んだ翌日は作山さん、鈴木淑登さんと 3 人でオーシャンでラウンドしてきました。朝から小雨の降る中、迎え酒でフワフワしながら回ってきました。結果はベストスコア更新の 119 打でした。午後 2 時ごろ終了したのですが、体力が余っていたので、そのまま勿来 WING という打ちっ放しに行って 250 球打ってきました。その後、夜 11 時まで反省会をやっていたという楽しい休日でした。

しかしそんな日にミャンマーで発生した大地震で、1700 人の犠牲者が確認され、タイでも被害が拡大しています。私はタイに友人が住んでいるので安否を確認したのですが、無事でした。ミャンマーは大変みたいですが、タイでは実際には大したことはなかったそうです。ただ地震に慣れていないタイ人は結構パニックしていたらしいです。彼はマスメディアの報道の仕方が悪いと言っていました。2011 年の大洪水の時も、バンコク沈没って言われていたらしく、メディアは、一箇所を切り抜いて、そこだけをクローズアップするからと言っていました。

というわけで、今日のプログラムは石川さんのイニシエーションスピーチです。彼とは幼少期からの付き合いですが、私が知らない別の一面を見る事が出来るのではないかと期待しております。では今日も楽しい例会にしていきましょう。

月 日	プログラム	担 当	4月 2日 出席報告		
4月13日	DTA		会員数	出席者	欠席者
4月16日	観桜例会(君田訪問)	親睦活動・家族委員会	28	17	11
4月23日	職場訪問例会(日本原料)	職業奉仕委員会	出 席 率 : 61%		
4月30日	休会		前々週訂正 : 100%		

事 務 所 : 〒318-0033 高萩市本町2-65
常陽銀行高萩支店内

TEL/FAX : 0293-24-0505

■URL : <https://www.takahagirc.jp>

■E-Mail : takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

会 長 : 今川 隆

幹 事 : 滝 徳宗

例 会 : 第1・2・3 水曜日 12:30 ~ 13:30

公共イメージ向上委員会: 石平光 石 君平 田所和雄

小森勇一 和田昌也 秋山順弘 平野浩司

四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

【イニシェーションスピーチ石川彰信会員】



自己紹介をさせていただきます。私の名前は石川彰信です。昭和 48 年 5 月 10 日生まれの現在 51 歳です。職業は、合資会社釜屋金物店の代表を務めております。

私は高萩市で生まれ、高萩小学校、高萩中学校を卒業し、高校は日立一高へ進学しました。高校卒業後は東洋大学へ進学し、東京で学生生活を送りました。

私の趣味の話をさせていただきます。まず一つは小学 3 年生から続けている剣道です。私は子どもの頃、運動が苦手で、体育の授業や運動会が嫌いでした。しかし、剣道だけは自分に合っていたようで、今でも続けています。現在、剣道の段位は五段です。

また、旅行も好きです。2 月の連休も、母が「富士山が見たい」と言ったので、家族で富士吉田、河口湖、山中湖へ行ってきました。大学生の時は、アルバイトで貯めたお金を使い、授業の合間の休みに日本全国を一人で旅していました。リュック一つで計画も立てず、東京駅に着いてから「さて、どこへ行こうか」と考えながら、1 週間ほど当てもない旅に何度も出ていました。その結果、日本全国の県庁所在地はほぼすべて巡ることができました。

もう一つの趣味は、祭りです。私は、大平さんと今川会長、鈴木よしとさんと共に、本町萩友会という祭り団体に所属し、高萩祭りでは本町の御神輿を担ぎ、地域の祭りを盛り上げる活動をして

います。また、毎年 1 月 1 日には、高浜の元旦御神輿に参加しています。まだ暗い早朝 6 時過ぎに神輿を担ぎ、海岸に到着するとはんてんを脱いでふんどし一丁の裸になり、海に入ります。ものすごく寒いですが、初日の出を見ながら神輿を担ぐと今年も一年頑張るぞという気持ちになります。

また、商工会青年部の視察研修で岡山県へ行った際、私が行程を組んでいたため、日本三大奇祭の一つ「西大寺のはだか祭り」に参加できるよう日程を調整しました。2 月の寒空の下、お寺の池につかり身を清めた後、しんぎと呼ばれる棒を巡り激しい争奪戦を繰り広げる祭りです。青年部の仲間にも参加を促しましたが、なかなか賛同者は現れませんでした。しかし、田所かずおさんの息子さん・としゆき君と一緒に参加してくれました。寒さに震えながら祭りを終えた後に食べたラーメンの美味しさは、今でも忘れられません。

さて、私の仕事についてもご紹介させていただきます。私が経営する合資会社釜屋金物店は、1880 年、明治 13 年に創業しました。今年で創業 145 年目になります。私は 5 代目として引き継ぎました。もともと、現在の福祉センターのある場所に本家があり、そこでは鍋釜の釜を製造していました。その本家の販売部門として分家し、実家の場所に初代が金物店を創業したのが始まりです。創業当初は釜の販売を主にしていたため、「釜屋金物店」と名付けられました。しかし、二代目の時代になると、高萩炭礦へ資材を納入する仕事为主軸となりました。父から聞いた話では、大型トラックにあふれんばかりのスコップなど、炭鉱で使う道具や資材を納入していたそうです。二代目の手によって店が大きくなったものの、三代目である私の祖父の時代には戦争が勃発し、多くの商品が徴収され、苦しい時代を経験しました。そして、四代目である私の父が事業を引き継いだ頃、日本は高度経済成長期を迎えました。公共工事や民間工事の建設ラッシュの中、当店も工事業者向けに道具や資材を納める卸業者へと変貌を遂げました。現在では、売上の 95%が企業間取引 (B to B) や行政との取引 (B to G) となっています。

一般のお客様向けには、包丁や草刈鎌、ナタなどの刃物類、さらには鍋や釜などの家庭金物を販売しています。特に包丁は 40 種類ほどを取り揃えており、その中には、日本橋に拠点を構える「木屋」というブランドの商品もあります。一般の多

くのお客様にご利用いただいています。

私は長男として生まれ、幼い頃から釜屋金物店の跡継ぎとして育てられました。事あるごとに「お前は大きくなったら金物屋をやるんだよ」と言われ続け、私自身も長男としての責任を感じ、自然と「金物屋を継がなければならない」と思うようになりました。幼稚園や小学校で「将来の夢」を書く機会があるたび、私は一度も迷うことなく「釜屋金物店を継ぐ」と書いていたことを覚えています。

そんな私に、父・武信は金物屋の仕事に興味を持たせようとしたのでしょう。私が中学二年生のとき、父から「学校の先生に、うちの商品で何か必要なものがないか営業してこい」と言われました。最初は「そんなの嫌だな」と思いましたが、父が「もし売れたら売上の半分をお前にやる」と言ったので、「それならやってみようかな」と思い、技術の先生に営業を試みました。

「先生、うちの釜屋金物店で何か販売できそうなものはありますか？」と尋ねたところ、「ちょうどハンダが欲しいんだよ。お前のところで取り扱ってるか？」と言われました。当時の私はハンダというものが何なのかも分からず、家に帰って父に報告しました。すると、父は商品と見積書を準備してくれました。

先生に商品と見積書を見せると、「おお、これだ！じゃあ購入しよう」となり、翌日私は領収書とお釣りを持って学校へ行きました。1万円くらいの売上だったと思います。家に帰り売上金を父に渡すと、その場で5,000円をくれました。中学生の私にとって、ただ先生と少し話ただけで5,000円をもらえたのは驚きでした。「商売ってこんなに面白いものなのか」と感じた瞬間でした。

大学生活を終えた後、神奈川県川崎市にある大きな金物屋で修行をすることになりました。金物屋の息子とはいえ、取り扱っている商品を全く理解していなかったもので、修行時代はとても厳しいものでした。

働き始めた初日から電話対応を任されましたが、商品の知識がないため、お客様の注文内容が全く分かりません。ただ言われた通りにメモを書き、営業担当者に引き継いでも「何を書いているのか分からない」と怒られる始末でした。お客様にも叱られ、毎日が辛く苦しい日々でした。

私たち金物屋の存在意義は、工事業者のお客様

がスムーズに仕事を進められるよう支援することにあります。たった一つの小さな部品が欠けるだけで作業がストップしてしまうこともあります。そうしたお客様の要望に迅速に応えるため、多くの商品を店頭に揃え、もし在庫がない場合は速やかに手配し、最短納期で納めることを心がけています。これからも、お客様の仕事が円滑に進むよう支えながら、地域の金物屋としての役割を果たしていきたいと思います。

次に、私の本業以外の社会貢献についてお話しさせていただきます。

まず、高萩市商工会では田所さんや大平さんとともに理事を務めております。商工会の中には地域商業活性化委員会があり、私はその副委員長として、毎年10月に駅前のヨーカ堂跡地で「まちなか大パーティー」というイベントを主催しています。このイベントは、1日限りですが、駅前に人を呼び込み、商店街を盛り上げることを目的としています。ダンスや歌、演武などのステージイベントに加え、飲食ブースも設けています。

その中で私が司会進行を担当しているのは、商工会会員事業所対抗の「五浦ハムの豚ドッグ早食い大会」です。各事業所から3名の代表者を出していただき、五浦ハムの製造限界40cmのソーセージを挟んだホットドッグをどのチームが最も早く食べられるかを競う企画ですが、大変盛り上がります。常陽銀行さんにもご参加いただき、生田目さんが必死に豚ドッグを食べる姿が目に焼き付いています。今年もぜひご参加をお願いいたします。

次に、高萩ロータリークラブの皆様には以前からお世話になっていましたが、3月31日で閉局となりました「たかはぎFM」の理事長を過去に3年間務めました。たかはぎFMは立ち上げ時から閉局まで役員として携わっており、私にとっても非常に思い入れのある事業でした。たかはぎFMでは、高萩ロータリークラブの番組や英語スピーチコンテストの放送も行い、多くの方にロータリークラブの活動を知っていただく機会になったと思います。

さらに、剣道のスポーツ少年団「高萩武徳殿」で、週3回の稽古のうち1~2回、指導のお手伝いをしています。今年で43年目を迎える高萩武徳殿の私は第一期生でした。これまで多くの門下生を輩出し、私にとっても大きな存在です。幼かった教え子たちが成長し、大人になった姿を見せに来

てくれるのが何よりの喜びです。

それと若い時に高萩市商工会青年部の部長を務めていました。それが東日本大震災のあった2011～2012年度のことです。青年部で「東北へボランティアに行こう」と話し合い、気仙沼で活動を行いました。気仙沼の海岸近くでは、建物が基礎部分を残すだけで何もない状態で、テレビで見た光景が目の前に広がり、衝撃を受けました。

私たちが担当したのは、津波で流された所有者不明の写真を洗浄し、乾燥させ、整理して避難所に飾る作業でした。泥まみれのアルバムから、破れやすくなった写真一枚一枚を慎重に取り出しますので大変気を使います。写真に写る笑顔の人々が今どうしているのかを考えると、胸が締め付けられる思いでした。この写真を所有者の元へ戻すぞ！という一心で作業をおこないました。

この経験から私は、「一日一生」という言葉を大切にするようになりました。一日一日を、今日限りの命として真剣に生きる。その積み重ねが、充実した一生につながると信じています。人生は長いようで短く、あっという間に過ぎていくものです。だからこそ、一分一秒を大切にし、悔いのない生き方をしていきたいと思います。

ロータリークラブには、私の父が長年在籍しており、親睦会での出来事や社交ダンスの話など、楽しそうに語る姿が印象に残っています。父は、ロータリーの活動を心から楽しみ、皆さまとの関係を大切にしていました。その姿を見て、私もロータリークラブには温かい雰囲気があるのだと感じていました。

父がまだ元気だったころ、「自分がロータリークラブを辞める時は、お前が入ればいいのではないか」と話していたことがありました。私は父を尊敬しており、父の言葉には素直に耳を傾けるタイプだったので、「いずれそうなるのかな」と漠然と考えていました。ただ、父がロータリーを辞めることはないだろうと思っていたため、自分が入会するのはもっともっと先のことだと思っていました。今こうして私がロータリークラブに入会したことを、父もきっと喜んでくれていることでしょう。

高萩ロータリークラブに入会して、早くも6ヶ月が経とうとしています。入会して最初の例会でご挨拶をしてから、例会の欠席は0で毎回出席しています。これはひとえに高萩のクラブの居心地

の良さのおかげだと感じています。例会のプログラムも新鮮なことばかりで、とても勉強になっています。米山梅吉は「ロータリーの例会は人生の道場」と語っています。これからも、できる限り例会に出席し、学び続けていきたいと思っています。

また、新会員オリエンテーション用の冊子『今日からロータリアン』には、「誰もが初めから立派なロータリアンではない。新会員のあなたは“ロータリーを学び”、そして“ロータリーで学ぶ”」と書かれています。父武信が仕事を終え晩酌をしながら、赤い顔でロータリーの冊子や会報を読み、熱心にメモを取る姿をよく覚えています。まさにそれを実践していたのだと、今の私には理解できます。私も父のように、少しずつ学んでいきたいと思っています。

【イニシエーションスピーチの様子】



【スライドショーを使用して説明してくださいました。】

（資）釜屋金物店



元旦神輿 高浜



西大寺 はだか祭り



まちなか大パーティー



高萩武徳殿



【幹事報告】

1. 4月のレート 150 円
2. ロータリーの友
3. 月信
4. オクトンからカタログ
5. 生駒時計店からカタログ

【ニコニコ BOX】

大高司郎さん：次年度に向けた行事が続きます。また、今年度もいよいよラストスパートに入り、忙しくなりそうです！

石君平さん：3月に夏日(25℃以上)、4月に冬の嵐の天気、高齢者は身体がついていけません。体調管理に注意します。

小森勇一さん：ひろしさん、88歳誕生月おめでとう。和田さん、お父さん、新たな門出、おめでとうございます。

江尻寛さん：誕生月です。米寿を迎えます。

鈴木啓志さん：小学校6年になる孫たちと春休みなので、明洞(ミョンドン)に行き昨夜遅く帰ってきました。年寄は疲れます。

鈴木国男さん：誕生月です。

大平敏明さん：この寒さで桜も長持ちしそうです。ゆっくり楽しみましょう。

和田昌也さん：4月15日ゴルフ大会皆様の御協力宜しくお願いします。

作山太一さん：石川さんイニシエーションスピーチ楽しみにしています。来週の月曜日に石川さんと水戸さくらRCにメイクアップ行ってきます！

石川彰信さん：今日はイニシエーションスピーチをやらせていただきます。大変緊張しております。よろしくお願いします。

大河原浩さん、菱川健司さん、今川隆さん、平野浩司さん、滝徳宗さん、滝義昭さん、秋山順弘さん

計 15,000 円

累計 609,500 円

【ロータリー財団】

本日計 94,000 円

累計 1,150,020 円

【ポリオプラス】

本日計 57,000 円

累計 329,520 円

【米山記念奨学会】

本日計 0円

累計 281,461円

【メイクアップ】

3月28日 笠間RC65周年記念例会

大高司郎さん

3月29日 PETS

大高司郎さん、大河原浩さん、

石君平さん、平野浩司さん

3月30日 PETS

大高司郎さん、大河原浩さん、

石君平さん、平野浩司さん

【誕生月の方】 ☆Happy Birthday☆

4/10 鈴木国男さん

/29 江尻寛さん

/30 横倉稔明さん